



生きものの“つぶやき”：

「ん～ここにもいないな～」

エッセイ：

庭の木に水をあげていたら蜘蛛がぽつんと1匹。

1匹でキヨロキヨロしている様子は仲間を探しているようにも、エサを探しているようにも見受けられます。

子蜘蛛は生まれてしばらく経つとお尻から糸を出し、風に身を任せ、みんなバラバラに飛んでいくと聞いたことがあります。

「兄弟たちと生き別れなんて可哀想」なんて思いながらも、この可愛さに勝手に手がシャッターを切ってしまうのです。

しばらくするとこの蜘蛛はどこかに行ってしまいました。

人生一度きりの出会いを大切にしなければ、

こんな小さな世界にもありました"一期一会"。(249字)

生きものの紹介：

クモ目・ハエトリグモ科。体長は約5~10mmほどで、日本の家の中や庭先などに広く生息。巣を張らずに歩き回り、ハエや小さな虫を素早く飛びかかって捕らえるのが特徴。前向きの大きな目をもち、動くものをよく見分けることができる。動きがすばやく、ジャンプして獲物を捕まえるため「ハエトリ」と呼ばれる。人に害はなく、むしろ害虫を食べる"益虫"として知られる。

撮影場所・日時：

愛知県愛西市勝幡町 2025年10月18日

応募者の自己紹介：

1. 氏名：マイ ミンコイ

2. 高校・学年：清林館高等学校・1年

審査員からのコメント：

写真とつぶやきがマッチしていて、物語を感じる作品。まるで自分がクモと同じサイズになって見ているかのようで、引き込まれる写真。構図も素晴らしい。

とても美しい写真です。